

新入社員に不可欠な教育

コミュニケーション力強化研修のご提案

年々、新入社員の早期退職が話題にあがることが多くなりました。

「仕事のやりがい、意義を感じない」「上司と合わない」「労働環境、条件が合わない」「給与水準に満足できない」「成長できる見通しが持てない」等、新人が辞めてしまう理由は様々であり、その対策を講じることは容易ではありません。

しかし、この方々にもう一步踏み込んで聞いてみると、半数以上が「**でも、もし職場の人間関係が良かったら辞めていなかったかも**」と回答しており、ここに退職防止のヒントが隠されているのかもしれない。

この数年でコミュニケーション力の強化は、新入教育に欠かせない内容となりました。その理由は、新人だけでなく、上司や先輩自身も「どう接したら良いのか・・・」と指導に悩む人が多くなり、新人の成長を阻害しているためです。そのため、コミュニケーションの重要性や考え方、具体的なスキルといった基本を教える企業が多くなりました。

しかし、それでも人間関係で悩む新人が減らないのは、「**コミュニケーションに正解はない**」という本質を理解し、状況に合わせた対応を考え、実践できていないからかもしれません。

コミュニケーションに関する教育では、“十人十色”という言葉がよく使われます。これは、人それぞれの価値観や背景が異なるため、同じ言葉や行動でも受け取り方が違うということです。そのため、一般論的なコミュニケーションの取り方を教えるだけでは、現場で十分に活かすことができないでしょう。

さらには、同じ相手でもタイミングが違えば、前回は良かったコミュニケーションの取り方もうまくいかないことがあります。それは、その時の相手の心理状況や環境に変化があるためです。そのため、コミュニケーションとは“**十人百色”とも言えるほど、大変難しい**”との理解がまずは必要なのです。

なお、心理状況や環境で相手の変化しやすいということは、当然、自分自身も同様であると言えます。そのため、まずは、コミュニケーションに関して自分自身をしっかりと分析し、その傾向や課題を整理できていることが前提条件となるのです。

しかし、そうは言っても、自身の内面を客観的に見直すことは簡単ではありません。教育ツールや運営方法を工夫するなど、研修の内容を充実させることが大切です。

弊社では、コミュニケーションの本質を理解するだけでなく、診断ツールを活用することで自身の優位性や課題を客観的に理解することが可能です。また、相手によって適切なコミュニケーションを考え、実践できるようになるための演習も数多く用意しております。ご興味のある方は、下記リンク、またはQRコードよりお問い合わせください。

> お問い合わせはこちら

